

畜産業における転倒災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	8~9	休憩室を出て、豚舎へ向かおうとしたところ転倒し、右手首を骨折した。前日からの強い冷え込みのため、路面が凍結しており、ゴム長靴を着用していたこともあり、誤って足を滑らせ、進行方向に向かって右側後方に転倒したものである。その際に慌てて右手をついたが、更にその上に尻が乗る形となり、右手首を骨折した。	58	—
2	6~7	事業主経営牛舎内に於いて搾乳作業の為に牛を移動させていたところ、立てない牛がいたため、事業主を呼びに行こうとした際、足もとが凍っていたため、転倒し、右手首を骨折したものである。	26	1~9
2	6~7	厩舎前の駐車場でトラックの荷台に乗りトラックから荷物を降ろしている時、足を滑らせバランスを崩して転倒しその際にトラックの荷台の角に背中を強打し負傷した。	66	—
3	7~8	ウッドチップパドック前でウッドチップパドック内にある水桶に水を入れるため、水が入ったポリタンクを両手に持ちながら、少し小走りしていたところ、雪がうっすら積もった通路がアイスリンクのようになっていて転倒した。	52	50~99
3	10~11	馬運動場において取扱馬の乗運動中、該馬が突然暴れた際に落馬し、腰部及び左脇腹を強打し負傷した。	39	10~29
3	18~19	バーコンベア（鶏舎からGPセンターにつながる鶏卵運搬装置）清掃点検中、カバーを外す際にバランスを崩し、リフトに装着されたパレットに飛び移ろうとしたところ、リフトのマスト部に右足が引っかかり負傷した。	34	—

3	20~21	作業終了後、作業場所から敷地内にある寮に自転車に乗り移動中、前ブレーキを使用したため、バランスを失い転倒し、左足首を骨折した。現場は坂道で、帰宅時は下り坂になっている。	31	1~ 9
3	13~14	豚の移動作業に従事中（豚を豚舎から出す直前）、豚が逃走しないように逃走用のビニールシート（1m×20m）を3人で持ち、シートが風でめくれないようシートの下を踏みつけて立っていたとき、前からの突風に煽られ、右端に立っていた被災者が転倒し、右手をついて負傷した。	61	30 ~ 49
4	15~ 16	仔豚舎の飼料庫へ軽トラックを横づけし紙袋を移し替える際、約1m下へ足を滑らして落下し、軽トラック荷台部分に脇腹をぶつけた。	45	10 ~ 29
5	15~ 16	GPセンター内で休憩に入るため作業場内を移動中、玉子のパッキングの機械の下に敷いてある鉄板に躓き転倒し、顎と肋骨部分を強打した。	69	50 ~ 99
5	7~8	港内に停泊中の船上において、漁場から船を移動させるために接岸用のロープを外そうと、船尾から船首に走って移動した時、滑って転倒した。その際、腹部横を船の仕切り材で強打した。	24	30 ~ 49
6	6~7	馬場Eコースにおいて、ゲート練習中、該馬が嫌がって突然立ち上がり人馬転倒し、右膝を強打し負傷した。	34	10 ~ 29
6	15~ 16	農場分娩舎入口付近で、被災者が離乳子豚計量機等を、1枚の板に載せて運搬中、子豚の調子を確認しようとして脇見をしてしまい、床に置いていた餌付用容器に足を引っ掛けてしまい転倒した。	58	1~ 9
7	11~12	被災者は、当社農場内の肥育ハウスの中で肥育豚の治療をしていた時、ハウス内の段差でつまずき左足甲を負傷した。（段差の高さは30cm位）	35	10 ~ 29
7	6~7	馬を洗うため、洗い場に馬を繋ごうとした際、馬が飛び出しそのまま引きずられ右肩にヒビが入った。	50	1~ 9

7	14~15	計量場から牛舎へ、牛をもくしで引っ張りながら移動していたところ、牛が興奮したためバランスを崩し転倒した。その際に、左体親指と小指を負傷した。	41	10 ~ 29
7	13~14	改修工事後の地下フロア内にて、清掃作業をするにあたり、気温が高いので風通りを良くするため、左右のドアをあけに向かった際、点在する除糞機・設備（高さ30cm程の鉄骨のガード）をこえようとした時、作業着・長靴の着用・室内照明等に瑕庇は無かったが、足下に点在するガードに加え、天井も低く注意が必要なことと、休息前の準備作業のためか注意力が不足しており、ガードの高さの目算を誤り、足をつまずかせ転倒。左顔面・手首等を除糞設備の鉄骨等に強打し、打撲・骨折等のケガをした。	60	10 ~ 29
7	9~10	牧場内において、馬の写真撮影作業中、馬の曳き綱を持って馬の正面に立ち、馬の姿勢を整えていたところ、馬が急に暴れだしたため転倒し、右肩付近を地面に強打し骨折した。	48	1~ 9
10	16~17	勤務終了後、駐車場へ向かう途中の下り坂で、近道しようと砂利道でなく草むらの上を歩き足を滑らせ転倒。その際に右手甲部分を強打した。（履物はクロックス（サンダル）を履いていた。）	49	1~ 9
10	7~8	GPセンター（卵のパッキングセンター）内で、始業前準備を高さ30cm程の検品作業台の上で行っていた。そこから床に降りる際に、5cm程の溝へ右足を取られて転倒し、右足首をくじき、くるぶしを骨折した。	52	100 ~ 299
11	9~10	集卵作業中、2号舎から5号舎へ歩行にて移動している時、薄いベニヤ板に足を取られ転倒した。その際に左足をひねり、右手を床について負傷した。	69	10 ~ 29
11	13~14	当社事業場第2牧場洗車場にて、4トンダンプ車を洗車している時に、地面に藻が生えており、滑り易くなっていたため、足元を取られ、転倒し左足首を負傷した。	43	10 ~ 29
11	10~11	ダンプにコンベアーで鶏糞を踏み込んでいた時、ダンプから鶏糞が溢れ出たので、慌ててダンプに行こうとして、滑り転び右足膝の内側関節部を床で強打した。	45	100 ~ 299

12	8~9	ビニールハウスにて給水しようとしてハウス内に入ったところ、牛の水飲場が壊れていてその水が凍り、氷になっていて、その上に乗った所で滑って転倒し、左腕を打ってしまった。	59	10 ~ 29
12	7~8	厩舎から衛生室へ道具を取りに向かう途中、地面の凍結に気づかず、滑って転倒した。	27	50 ~ 99
12	11~12	豚舎内で出荷選抜作業中、滑って豚柵に脇腹を打ちつけた。痛みはあったが、病院には行かず様子を見ていたが、痛みが引かず、後日病院へ行ったところ、左脇アバラ骨1本にヒビが入っていた。	27	30 ~ 49
12	16~17	種豚舎前の通路で移動中、段差につまずき転倒した。転倒時、路面は圧雪状態であった。その後数日は出勤していたが、痛みが治まらなかったため受診した。	60	30 ~ 49
12	10~11	会社所有の農場にて、豚にエサを与える為、外に設置してあるエサタンクからエサを一輪車で運ぶ際に地面が雪で凍っていて、バランスを崩し滑って転倒した。着地の際に、左足首から地面に着いて負傷した。	42	1~ 9
12	13~14	当社農場の養豚場に於いて、空いた豚舎を高圧洗浄機で洗浄していたところ滑ってしまい、転倒して左足を骨折したものである。	76	1~ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html